

3：よくできている、2：おおよそできている、1：あまりできていない、0：まったくできていない
 評価できない・・・空欄

		児童 評価	保護者 評価	教職員 評価	教職員評価の理由		
主体的・対話的で深い学び	支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践	2.4	2.1	2.0	<ul style="list-style-type: none"> グループでの話し合い活動などで、教えたり、教えられたりする等、お互いに学び合う姿も見られるが、まだまだ、教師の指示等がないと難しい現状があり、主体性をなかなか発揮させることができていない部分もある。 昨年度よりコロナ感染症予防に対する対応も緩まり、授業の中でもさっと話し合いの場を持つことが多くできるようになり、コミュニケーション能力の育成等にも取り組んでいる。 研究推進部会を中心に授業研究が進められている。 		
	協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善（ICTの活用含む）	2.5	2.2	2.0			
	主体的・対話的で深い学びを追究する授業研究や研修会			2.0			
道徳教育の充実	生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動の実施	2.7	2.1	2.2	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の授業時数を確保し、参観でも保護者に公開している。 道徳科の授業はおおよそできていると思うが、評価に関する研究や資料ができていないかという点と難しい部分がある。 毎回、本時のねらいと日々の学校生活を関連させることで、自分の行動を振り返らせることができた。 学校生活全般を通して、子ども達をより方向へ導くための関わり方をしている。 		
	道徳科の授業・評価に関する研究や資料の開発・整備・交流			1.8			
	保護者等への道徳科の授業公開			2.3			
体力づくり	たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善	2.4	2.0	2.1	<ul style="list-style-type: none"> 日々の体育の宿題や授業を生かした体育の取組（マイベースランニング、シャトルラン・なわ跳び大会など）を精力的に行っている。 楽しい、運動時間を確保できるよう心がけて教材研究をしている。 委員会活動を動かしながら楽しんで運動に親しみよう工夫されている。 		
	体力づくりを推進する運動実践			2.2			
	体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成	2.4	2.1	2.1			
指導改善（組織的・計画的）	学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善	2.5	2.0	2.0	<ul style="list-style-type: none"> OJT研修など若手の教職員が学べるような環境を整えている。 一つの研究目標を学校で決めて、それにむかって全校全体で取り組めるものが必要に感じる。 毎時間、子どもたちにわかるようにめあてを提示し、ふりかえりもきちんとしている。 何かあれば、学級担任だけでなく学年共有、学校共有をすることができている。 校内研究を中心に授業改善に取り組んでいる。ICTの活用も積極的だ。 働き方改革は改善する必要がある。 		
	教職員の指導力、情報活用能力、及び組織的な教育力の向上			2.0			
	働き方改革の取組と教育活動の質の改善			1.8			
育ちと学びを支える連携	① 家庭・地域との連携・協働	保護者の子育てに対する積極的な支援			2.0	<ul style="list-style-type: none"> 協力的な家庭が多いと思います。 感染症対策のため、保護者や地域となかなか関わりが持たない中だが、地域つながり委員会を中心に、スクール農園を通して地域と繋がる活動や、読み聞かせ等多くのボランティアの方との関わりができてきていると思う。 学校によりや学年、学級通信で、保護者に学びの様子を伝えている。 	
		保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用	2.6	2.3	2.2		
		防災教育の推進、感染症対策の推進等、安心・安全な学校づくり	2.6	2.2	2.1		
② 保幼小中の連携	子どもの校種間交流や教員の出前授業				1.8	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園・保育園との交流の機会を多く設けているし、仰人教の研修で校種間のつながりができていると思う。 それぞれの校園が大変忙しく、話し合う時間を持つことが難しい面もある。 5・5交流を今年度はできてよかった。 	
	校種間の授業公開や合同研修会				1.8		
	保幼小中の接続期の教育課程の編成等校種間のカリキュラム研究				1.8		
組織的体制の充実	① 生徒指導体制の充実	いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導	2.6	2.0	2.5	<ul style="list-style-type: none"> 小さな案件でも見逃さずに指導・報告されているし、放課後もよく保護者への連絡をされている。 少しのトラブルも、一人で抱え込まず、学年、教務部等と共有できるようになってきたように思う。何かあれば、報告、連絡、相談ができる体制が整っている。 週1回の打ち合わせの時に、振り返りの時間があることで、情報の共有ができた。 生徒指導主任・子ども支援コーディネーター・学年主任などを中心に組織的な対応がなされている。 	
		生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進					2.4
		家庭・地域・関係機関との連携による指導					2.3
② 特別支援教育の充実	個別的教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用				2.2	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関の先生方が学校に来られて子どもたちの様子を観察され、アドバイスを聞ける機会が何度もあった。 個別指導計画を作成し、個別支援計画、学年別ケース会議等、定期的に行われていて、支援の必要な児童を学校全体で共有できていると思う。 児童について、日々の連絡や情報共有などがその都度行われていた。 特別支援コーディネーターや特別支援学級により体制が充実している。 	
	組織的・計画的な特別支援教育体制の確立				2.2		
	関係機関と連携した相談体制の充実				2.2		
学校満足度	児童生徒の学校満足度	2.5	2.2	2.0	<ul style="list-style-type: none"> ほぼみんな元気に学校へ来てくれている。嫌なことがあったら、教員に話ができる体制ができている。 学校や勉強が嫌だと言う子もいれば、自分勝手にしている友達に不満をもつ子もいる。 支持的な雰囲気があると感じる。 職員間の雰囲気も温かいと思う。 		

学校関係者評価		学校関係者評価	評価の理由
	2.4		<ul style="list-style-type: none"> 地域つながり委員会の子どもの態度や言葉は、先生との話し合いがあっての事ともいいますが、主体的に言葉を出しているように思います。この場面だけで評価はできませんが、今までになかった主体性を感じました。先生方の指導的を得ていたのだと思います。 先生からの一方的な学びだけでなく、子ども同士の教え合い・話し合いもとても大切だと思ふ。その上で、意見が言える子言えない子、我を通しすぎる子などを配慮しながら指導していくことが必要だと思ふ。 支所を見学いただいた時の児童さんの目の輝きが印象的でした。 教室の外での学びにも意欲を見せている。 答えのないような話し合いを今後も増やしてほしい。 教員の指導力の差異が気になる。授業で子どもたちにどんな力をつけたいか？を十分に考え学習計画を作成してください。
	2.6		<ul style="list-style-type: none"> 道徳の授業公開で先生がどんな風に伝えてくださっているのかは分かるが、子どもたちが親の前で、本音で発言できるのかなと思う。道徳では善悪という人間としてどうなのかを感じてもらえたら嬉しい。 子どもたちは授業で学んだことを実践しようとしている。 イラストなどを使い、分かりやすく授業を受けていた。 いじめ問題は難しいですが、常に意識して取り組むことが必要です。児童の関係作りが大切だと思います。 道徳の授業を保護者に公開して先生方は何を考え、何を学んだのか。授業が大切である。
	2.6		<ul style="list-style-type: none"> 私は仰木の里東小学校の近くに住んでいるが、殆ど毎日の様に学校の前を散歩しています。その時、学校のグラウンドを覗くと、生徒達が体育で縄跳びを練習している姿を見ることがあり、生徒たちの楽しみながら体育の授業を受けていました。 体育の授業の中でも、様々なスポーツを通して、それぞれのルールの違いや楽しさを体験できるのがとても良い。 ランニングや縄跳びなど、取り組んでいることに対し、繰り返し練習しようと思ふ意欲を見せている。 ゲームなどで過ごすことが増えたので（学校での取組は）ありがたい。 コロナ禍でしたが、運動会が実施されました。この年は二度とこないものですから、児童も保護者も喜んでいました。先生が汗をかいて子どもと取り組んでいる様子が感じられました。 個々の児童の運動能力等の差異をどうとらえ、指導に生かしているか。
	2.7		<ul style="list-style-type: none"> 日々の授業やクラス運営、その他の業務などたくさんのタスクがある中で、本当に先生方には感謝しかありません。心と体を崩してしまわないようにして頂きたいです。 農園に生徒を連れてくる先生が分からないからだと思いますが、ボランティアで指導がないように思いました。指示物は工夫を凝らした感じのものがいい、興味のある子どもさんも多かったでしょう。 東小の先生の組織的な教育力の向上を目指して、具体的に何を、また、どこに成果が表れているのか。 校長先生を筆頭に熱心に取り組まれていると感じます。 勉強が分かりにくいといったことを聞かないので、工夫してくださっているのだと思う。
	2.7		<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革と言われていますが、休みの日にもかかわらず、校長先生や何人かの先生が参加されていました。校長先生の地域との関わりを大切にされる思いの表れかと感じます。 校内で出会う先生方は必ずみなさん挨拶をしてくださるので、心が明るくなります。そういう雰囲気は協力的な家庭を増やしているのだと思います。 私もちいづなつながり委員の一員ですが、前校長先生の時代からスクール農園に関わっています。現在もその継続の意義をよく理解いただき、今日まで農園活動が続いています。 児童さんの表情・反応などから、地域のボランティアの方もやりがいを感じると聞きます。 授業でのボランティアや畑の活動などで交流しつつ、その関りが子どもたちの学びになっている。 たくさんのボランティアの方に助けて頂いていると感じます。
	2.4		<ul style="list-style-type: none"> 対面での5・5交流が再会できてよかった。やはり、入学後の1年生の安心感と6年生の責任感5・5交流での積み重ねだと思ふ。中学校の先生の出前授業も、不安が少し安心に変わったと思う。多忙な中で大変だろうが、どんどん取り入れてほしい。 保幼小との交流がコロナが明けて充実していき、今もできる形で工夫していけるとうい。 今年度から5・5交流ができてよかった。そういった機会をもっと増やしてほしい。 コロナ禍でよく見えませんが、校長先生の関りと努力は見られました。
	2.7		<ul style="list-style-type: none"> 先生方はけっこう細かいところまできちんと対応して下さっています。担任の先生だけでは対応できない事案もあるでしょうから、教師間のコミュニケーションを充実させて、話しやすい、相談しやすい環境を保ち続けてほしいです。 子どもたちはと、相談しながら生活するとよい。 気になることがあるとすぐに連絡をくださることで安心できる。 登下校時に児童にあいさつをしますが、どことなく不自然です。時間帯によって園児・小・中学生などいろいろですが、もめごとなく過ごしています。 児童の問題行動に対する教師の指導力はどんなものか？家庭訪問、電話連絡等々、安易な処置にならないように。
	2.6		<ul style="list-style-type: none"> 元気学級のクラス数が少しずつ増えて、個々の対応が必要とされているので、よりきめ細やかな配慮が求められる中、子どもたちが楽しそうに過ごしているのを見かけ、先生方の指導が素敵なんだなと感心している。 スクール農園での元気学級との関わりがりましたが、どの子もいい顔をしていました。大根やジャガイモを土から掘り出したときの喜びはよかったです。 個々に合わせ、計画的に関わられている。 スクールカウンセラーの方がいてくださるのは安心できる。 私も少年補導委員の立場で参観に訪れる機会があります。その後、関係機関と意見交流をしています。東小学校では私たちの提案をしっかり受け止め改善に努力されています。
	2.7		<ul style="list-style-type: none"> わが子に関していえば本当に楽しく過ごしています。学校での縄跳び大会やスゴ技大会などのイベントが嬉しいようです。担任の先生以外の先生方の名前も覚えてあります。それだけ些細なことでも関わりがあるのだと思うし、ありがたいです。 校長先生を中心に、登下校時に児童の顔と視線を合わせ、声かけをされている点は、評価に値します。 学校の先生方に対して何の不満も聞きません。丁寧に指導してくださっているんだと思ふ。 概ね満足していると思うが、しんどい思いをしている子もいる。個人や家庭の支援を引き続き行っていく必要あり。何ができていないというわけではなく、共に考えていくことを続けていく。 コロナ禍で分からないことが多いですが、農園は校長先生の関りが多いことがボランティアが続いていることの一因だと思います。